



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社アルマード 上場取引所 東
コード番号 4932 URL <https://www.almado.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 史朗
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤 博雅 TEL 03(4334)1126
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,538	15.5	960	15.5	963	15.1	695	18.7
2023年3月期	6,528	21.7	831	△0.5	837	0.1	585	0.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	72.98	72.89	33.0	25.7	12.7
2023年3月期	60.29	60.22	23.3	23.8	12.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,830	1,884	49.2	203.82
2023年3月期	3,671	2,332	63.5	243.09

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,884百万円 2023年3月期 2,332百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	846	△1	△720	1,512
2023年3月期	711	△7	△492	1,388

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0.00	-	65.00	65.00	623	107.8	24.8
2024年3月期	-	0.00	-	70.00	70.00	647	93.0	30.7
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	65.00	65.00		89.3	

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	20.7	990	3.1	982	2.0	678	△2.5	72.82

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	10,394,000株	2023年3月期	10,394,000株
2024年3月期	1,150,433株	2023年3月期	799,642株
2024年3月期	9,529,791株	2023年3月期	9,716,811株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(損益計算書関係)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、行動制限の緩和や入国規制の解除によるインバウンド需要の増加により、経済活動の正常化が進みました。一方、原材料及びエネルギー価格の高騰や為替変動など、今後の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社は3つの経営ビジョンの下(※1)、卵殻膜商品の更なる認知度向上を狙った広告運用強化等により、直販(EC)の新規顧客獲得数の好調な増加並びに外販(OEM販売)の堅調な推移、一方で、TV通販での出荷が、前年同期比で減少する結果となりました。

その結果、当事業年度の経営成績は、売上高7,538,775千円(前年同期比15.5%増)、営業利益960,534千円(前年同期比15.5%増)、経常利益963,280千円(前年同期比15.1%増)、当期純利益695,456千円(前年同期比18.7%増)となりました。

※1・先進諸国に到来する高齢化社会において、人々の健康、若さ、そして美しさの維持・向上による“生活の質”の向上という根源的なニーズに、“卵殻膜”を通じて貢献する。

- ・卵殻膜の多機能な効果及び効能を科学的に解明し、常にユニークで最高品質の商品開発にこだわり、それを世界に提供する。
- ・“卵殻膜”で、美容と健康分野において、新しい価値観を浸透させる。

なお、当社は卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の販売チャネル別の内訳は、以下のとおりであります。

区分	第23期事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		第24期事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		増減額 (千円)	前年同期比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		
TV通販	1,401,526	21.5	1,368,947	18.2	△32,578	97.7
外販 (一般流通)	289,296	4.4	364,132	4.8	74,835	125.9
外販 (OEM販売) ※2	1,528,803	23.4	1,653,407	21.9	124,604	108.2
直販(EC)	3,309,259	50.7	4,152,288	55.1	843,028	125.5
合計	6,528,885	100.0	7,538,775	100.0	1,009,889	115.5

※2 OEM販売額のうち、インターネット販売を主としているOEM先への売上高

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度の流動資産は3,673,527千円となり、前事業年度末と比較して175,910千円増加しました。これは主に、現金及び預金が124,509千円、電子記録債権が329,746千円、売掛金が40,579千円増加し、受取手形が378,114千円減少したことによるものです。固定資産は156,885千円となり、前事業年度末と比較して16,752千円減少しました。これは主に、工具、器具及び備品が5,637千円増加し、ソフトウェアが6,712千円、差入保証金が10,069千円減少したことによるものです。

以上の結果、総資産は3,830,412千円となり、前事業年度末と比較して159,158千円増加しました。

(負債)

当事業年度の流動負債は1,904,136千円となり、前事業年度末と比較して603,380千円増加しました。これは主に、買掛金が105,601千円、短期借入金が450,000千円、未払金が92,380千円増加し、未払法人税等が101,178千円減少したことによるものです。固定負債は42,240千円となり、前事業年度末と比較して4,035千円増加しました。これは、退職給付引当金が5,000千円増加し、リース債務が964千円減少したことによるものです。

以上の結果、負債合計は1,946,376千円となり、前事業年度末と比較して607,415千円増加しました。

(純資産)

当事業年度の純資産は1,884,035千円となり、前事業年度末と比較して448,257千円減少しました。これは主に、繰越利益剰余金が71,822千円(配当金支払623,633千円、当期純利益695,456千円)増加し、自己株式が524,747千

円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ124,509千円増加し、1,512,853千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益963,280千円、仕入債務の増加額105,601千円、未払金の増加額91,925千円、法人税等の支払額368,874千円等により846,273千円の収入となりました(前事業年度は711,745千円の収入)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出8,986千円、無形固定資産の取得による支出2,660千円、敷金及び差入保証金の返還による収入10,070千円により1,576千円の支出となりました(前事業年度は7,125千円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入による収入2,400,000千円、短期借入金の返済による支出1,950,000千円、自己株式の取得による支出545,623千円、配当金の支払623,633千円等により720,187千円の支出となりました(前事業年度は492,016千円の支出)。

(4) 今後の見通し

日本経済の見通しについては、今後もインバウンド需要の継続が見込まれる一方で、長期化する地政学リスクや円安の進行などの動向が経済活動や個人消費に影響を及ぼすことも懸念され、引き続き不透明な状況で推移するものと予想されます。

このような市場環境の中、当社は、TVCMを含む広告投資・取扱店舗数拡大等による認知拡大、自社ECにおける新たな主力商品の育成、国内外の新たな市場開拓、卵殻膜と機能性表示成分を掛け合わせたハイブリット商品の開発といった主要施策を着実に進めてまいります。

通期の経営成績といたしましては、売上高9,100百万円(前年同期比20.7%増)、営業利益990百万円(前年同期比3.1%増)、経常利益982百万円(前年同期比2.0%増)、当期純利益678百万円(前年同期比2.5%減)を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,388,343	1,512,853
受取手形	378,114	-
電子記録債権	181	329,928
売掛金	629,147	669,727
商品	861,101	870,278
貯蔵品	212,433	244,706
前払費用	13,784	27,011
その他	14,510	19,023
流動資産合計	3,497,617	3,673,527
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	18,499	16,723
工具、器具及び備品(純額)	35,024	40,661
リース資産(純額)	1,619	809
有形固定資産合計	55,142	58,194
無形固定資産		
商標権	1,126	875
ソフトウェア	24,938	18,226
無形固定資産合計	26,064	19,102
投資その他の資産		
繰延税金資産	66,661	63,889
差入保証金	10,069	-
敷金	15,688	15,688
その他	10	10
投資その他の資産合計	92,429	79,588
固定資産合計	173,637	156,885
資産合計	3,671,254	3,830,412

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	308,491	414,093
短期借入金	550,000	1,000,000
リース債務	930	964
未払金	102,536	194,917
未払費用	16,008	29,413
未払法人税等	253,729	152,550
未払消費税等	35,875	64,373
預り金	2,805	3,781
賞与引当金	21,626	29,952
その他	8,752	14,089
流動負債合計	1,300,756	1,904,136
固定負債		
リース債務	964	-
退職給付引当金	37,240	42,240
固定負債合計	38,204	42,240
負債合計	1,338,961	1,946,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	110,000	110,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	3,560	8,227
資本剰余金合計	3,560	8,227
利益剰余金		
利益準備金	27,500	27,500
その他利益剰余金		
別途積立金	110,000	110,000
繰越利益剰余金	2,907,305	2,979,128
利益剰余金合計	3,044,805	3,116,628
自己株式	△826,072	△1,350,820
株主資本合計	2,332,293	1,884,035
純資産合計	2,332,293	1,884,035
負債純資産合計	3,671,254	3,830,412

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,528,885	7,538,775
売上原価	2,178,717	2,467,727
売上総利益	4,350,168	5,071,048
販売費及び一般管理費	3,518,442	4,110,513
営業利益	831,726	960,534
営業外収益		
受取利息	8	10
助成金収入	2,180	500
雑収入	10,118	9,356
営業外収益合計	12,306	9,866
営業外費用		
支払利息	2,904	3,925
自己株式取得費用	3,564	2,648
為替差損	160	296
雑損失	296	250
営業外費用合計	6,925	7,120
経常利益	837,106	963,280
税引前当期純利益	837,106	963,280
法人税、住民税及び事業税	240,625	265,052
法人税等調整額	10,683	2,771
法人税等合計	251,308	267,824
当期純利益	585,798	695,456

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
I	※	1,041,911	47.8	1,118,678	45.3	
II		2,399,080	110.1	2,574,833	104.3	
III		220,609	△10.1	187,767	△7.6	
IV		1,118,678	△51.3	1,148,581	△46.5	
商品売上原価		2,101,703	96.5	2,357,163	95.5	
V		△68,959	△3.2	△14,520	△0.6	
VI		145,973	6.7	125,085	5.1	
当期売上原価		2,178,717	100.0	2,467,727	100.0	

※ 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
販売促進費 (千円)	74,636	68,001
商品廃棄損 (千円)	145,973	119,765
合計 (千円)	220,609	187,767

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	110,000	31,740	31,740	15,000	110,000	2,733,855	2,858,855	△312,337	2,688,257	2,688,257
当期変動額										
剰余金の配当				12,500		△412,348	△399,848		△399,848	△399,848
自己株式の取得								△581,111	△581,111	△581,111
自己株式の処分 (譲渡制限付株式報酬)		6,568	6,568					22,787	29,356	29,356
自己株式の処分 (新株予約権の行使)		△34,748	△34,748					44,588	9,840	9,840
当期純利益						585,798	585,798		585,798	585,798
当期変動額合計	-	△28,179	△28,179	12,500	-	173,450	185,950	△513,734	△355,964	△355,964
当期末残高	110,000	3,560	3,560	27,500	110,000	2,907,305	3,044,805	△826,072	2,332,293	2,332,293

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	110,000	3,560	3,560	27,500	110,000	2,907,305	3,044,805	△826,072	2,332,293	2,332,293
当期変動額										
剰余金の配当						△623,633	△623,633		△623,633	△623,633
自己株式の取得								△545,623	△545,623	△545,623
自己株式の処分 (譲渡制限付株式報酬)		4,667	4,667					20,875	25,543	25,543
当期純利益						695,456	695,456		695,456	695,456
当期変動額合計	-	4,667	4,667	-	-	71,822	71,822	△524,747	△448,257	△448,257
当期末残高	110,000	8,227	8,227	27,500	110,000	2,979,128	3,116,628	△1,350,820	1,884,035	1,884,035

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	837,106	963,280
減価償却費	15,728	16,011
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△624	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,366	8,325
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,500	5,000
受取利息	△8	△10
助成金収入	△2,180	△500
支払利息	2,904	3,925
売上債権の増減額 (△は増加)	21,622	7,788
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△150,833	△41,449
前払費用の増減額 (△は増加)	19,750	△4,888
前払金の増減額 (△は増加)	2,565	△1,617
預け金の増減額 (△は増加)	△6,361	△2,608
仕入債務の増減額 (△は減少)	116,038	105,601
未払金の増減額 (△は減少)	13,494	91,925
未払費用の増減額 (△は減少)	1,777	13,405
未払又は未収消費税等の増減額	17,182	28,498
その他	31,697	25,878
小計	927,726	1,218,566
利息の受取額	25	10
利息の支払額	△2,889	△3,929
助成金の受取額	2,180	500
法人税等の支払額	△215,297	△368,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	711,745	846,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△8,986
無形固定資産の取得による支出	△7,125	△2,660
敷金及び差入保証金の返還による収入	-	10,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,125	△1,576
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,670,000	2,400,000
短期借入金の返済による支出	△1,190,000	△1,950,000
リース債務の支払による支出	△897	△930
自己株式の取得による支出	△581,111	△545,623
新株予約権の行使による収入	9,840	-
配当金の支払額	△399,848	△623,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492,016	△720,187
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212,603	124,509
現金及び現金同等物の期首残高	1,175,740	1,388,343
現金及び現金同等物の期末残高	1,388,343	1,512,853

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(損益計算書関係)

※1 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	△68,959千円	△14,520千円

※2 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度80.05%、当事業年度79.95%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度19.95%、当事業年度20.05%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
広告宣伝費	1,761,017千円	2,188,808千円
販売促進費	178,916	172,192
物流委託費	189,429	154,203
運送費	369,051	401,668
賞与引当金繰入額	44,487	57,094
減価償却費	15,728	16,011

※3 一般管理費に含まれる研究開発費の総額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	89,652千円	73,288千円

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	243.09円	203.82円
1株当たり当期純利益	60.29円	72.98円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	60.22円	72.89円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	585,798	695,456
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	585,798	695,456
普通株式の期中平均株式数(株)	9,716,811	9,529,791
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	11,593	11,842
(うち新株予約権数(株))	(11,593)	(11,842)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2024年5月15日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行うことについて決議いたしました。

(1)自己株式処分の目的

対象従業員の資産形成の一助とすることに加え、経営ビジョンの実現を目指しつつ、当社の社会価値と経済価値の最大化に取り組むことを目的として、譲渡制限付株式を活用したインセンティブ制度を実施いたします。

(2)自己株式処分の概要

①処分期日

2024年7月29日

②処分する株式の種類及び数

当社普通株式 35,748株

③処分価額

1株につき 1,465円

④処分総額

52,370,820円

⑤処分予定先の人数並びに処分株式の数

当社従業員 66名

35,748株